



事業の目的とつながるSDGs指標

多世代型コミュニティの居場所づくり				
豆腐製造から出るおからの有効活用				
地域ブランドの構築、新しい食文化の提案				
新しい働き方の提案（協同労働）、働きを通した生きがいづくり				



活動の背景と目指すもの

- 都市化による地域住民の関係性、コミュニティの希薄化
→「ゆいまーる（相互扶助）」文化の弱体化
- 地域の高齢化と住民の孤立化
- 困窮家庭の潜在化

誰もが安心して集い、つながりあえる

温かい地域コミュニティを促進する

- 味噌づくりを起点に「食えること」「働くこと」「支え合うこと」を地域のなかでまわしていく、**持続可能な仕組み**を目指します



労働者協同組合ワーカーズコープと 協同労働について

ワーカーズコープは、ともに生き、
ともに働く社会を目指して**協同労働**という働き方
を通して働く仲間をつくる協同組合です

協同労働とは

- ・働く人がみんな**出資**し
- ・一人ひとりの**意見を反映**して運営を行い
- ・よい仕事や地域づくりを目指して
ともに働くことを大切にしています

地域再生やまちづくりを協
同労働で実現！





みんなのおうち「よりみん」 3つの柱

ワーカーズコープ沖縄事業所新規事業 那覇市寄宮で2023年12月スタート

居場所づくり

みんなのおうち
よりみん

誰もが気軽に立ち
寄れる地域の縁側を！
生活の延長にある
繋がり場！

子どもと大人が共に過
ごせる多世代型居場所

- 味噌・糰の勉強会
- 季節の行事イベント
- 沖縄のおやつ作り
- 映画上映会
- 宿題サポート
- 遊びの見守り
など
- おでかけよりみん
- よりみんカフェ
- ★子ども食堂
- ★認知症カフェ実施予定

仕事づくり

地域資源を活用
三方良しの関係を！

つながる！
役立つ！
居場所になる！

シニア・子育て世代・
若者が一緒に関われる
地域の“働く場”

- おから味噌床製造販売
- 新商品甘糰味噌開発
- 少量パックの販売
- 経理・営業・会議も含め、運営全体をメンバーで協同
- * 誰かの役に立っているという実感が自信と生きがい！
⇒働くことを通じて、地域との繋がりや小さな経済が生まれている

地域づくり

地域連携で支え合う

地域と繋がりながら、自
分たちの手で動かす“ま
ちのチカラ”を育てる

自分たちも動くことで
周りの人も動き出す、
小さな波を起こしたい

- まちづくり協議会との連携
 - ・地域まつり
 - ・もちつき大会
 - ・清掃活動
 - ・花いっぱい運動等に参加
- シングルママ支援
⇒フードドライブ
- ※国場りうぼう・那覇市社会福祉協議会の協力連携

現在の主な活動状況 みんなのうちに・よりみん

運営開始：2023年12月（月1回）

→夏休み2回・秋休みは4日連続・平日も可能な範囲で毎日オープン！

参加人数：これまでに延べ約340名（子ども、大人含む）

運営体制：3～4名



現在の活動状況 おからみそどこ製造事業

製造開始：2024年1月（週1回からスタート、現在週2回の製造）

製造体制：2～4人

販売開始：2024年7月8日 開所式～

累計販売数：約2,000個（4月末現在）※500g/1,000円

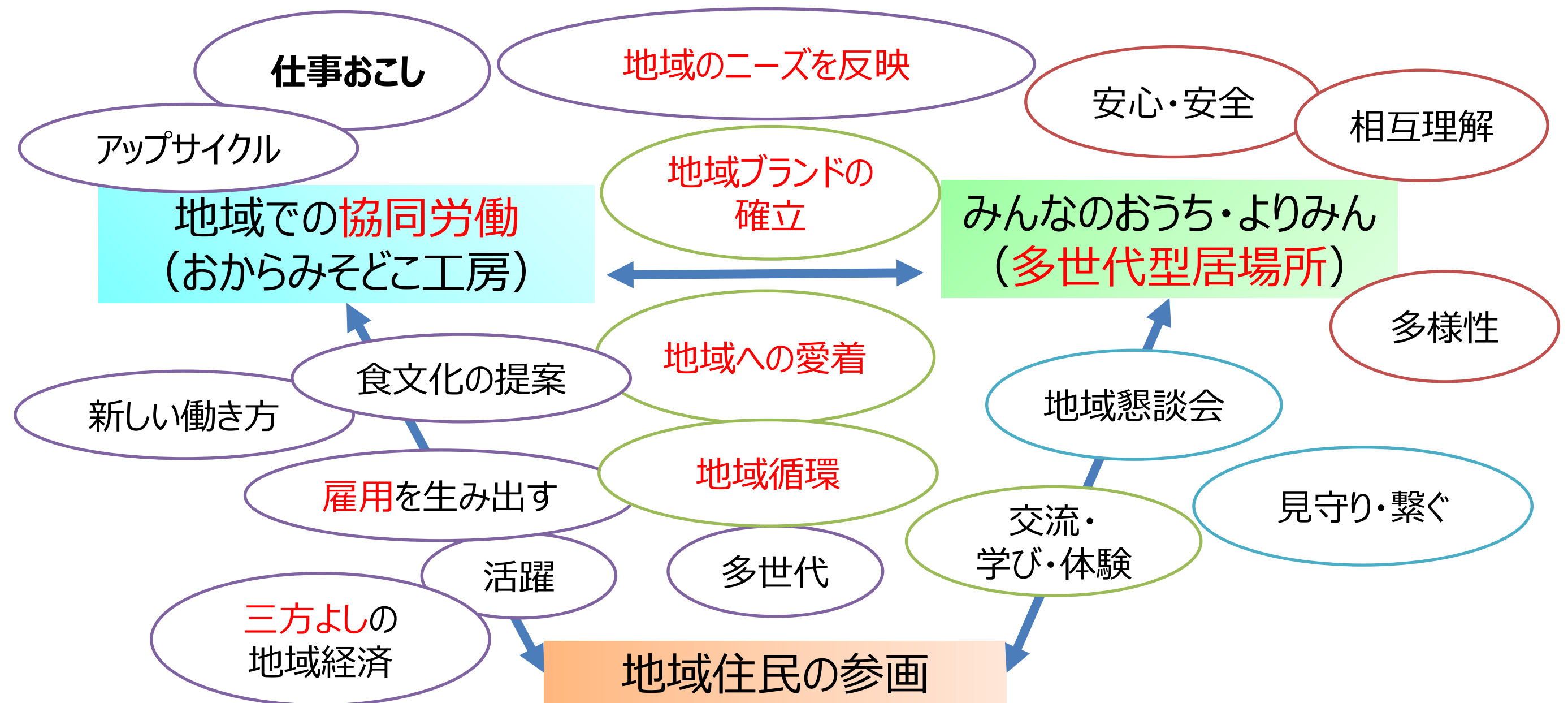
※飲食業、製造業営業許可証取得済み





那覇市版SIBに挑戦：ゆいまーるを再び！多世代コミュニティづくり

持続可能な運営で新しいコミュニティビジネスを成功を目指す！



地域のニーズに応じた仕事で収益を確保し、
自立したみんなのうちの運営を目指す

PJ終了時成果目標 R7/6月～R8/1月

- ①居場所活動での利用者やおから味噌関連で関わる人、接点を持つ人が増える【事業最終月までに100人/月達成】
- ②よりみんな活動を通して生まれたエピソード（居場所利用前後の変化等の事例）を集め、共有する場をつくる
【2025年 エピソード10本創出、
2026年 1月エピソード発表イベント開催】
- ③地域や関連団体又は個人と連携したイベントの開催
【事業期間10回以上開催（月2回程度）】



地域団体とのネットワーク



💖 ホームページも立ち上げました 💖

引き続き頑張ります！

皆さま、応援の方、どうぞよろしく
お願いいたします。

